

令和8年度の取組検討項目（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
JR山陰本線利用促進事業	①「乗って守ろう！竹野駅ペイ」実施事業 JR竹野駅で切符等を購入した利用者に対して、購入金額に応じた額面のクーポン券(100円/1枚)を配布（発行予定枚数：25,000枚、上限2,000円のクーポン券）し、竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で利用できる取組み ②山陰本線周遊サイクルトレインスタンプラリー事業 JR山陰本線（城崎温泉駅～竹野駅間）において、サイクルトレインとスタンプラリーを組み合わせた周遊観光を促進 ③桜のライトアップイベント事業（4月） ④イルミネーションライトアップイベント事業（12月～1月）	4,623千円	竹野地域公共交通利用促進委員会	●	●	
トライやる・ウィーク交通費支援	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	377千円	豊岡市	●		
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市 (一社)たけの観光協会	●		
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	300千円	豊岡市	●		
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市	●		
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会		●	

令和 8 年度の取組検討項目（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
養父市関宮小さな拠点づくり 共創プラットフォーム事業	市が進める「関宮小さな拠点」を、地域の移動手段と路線バスとの結節点として運用することを想定し、旧関宮地域の交通体系を検討する中で、デマンド交通実証実験を実施	27,304千円 (予算総額) 4,722千円 (養父市負担分)	養父市 交通事業者等	●		
自動運転バス実証実験	自動運転バスの導入により新たな交通体系の在り方を検討	—	養父市 BOLDLY(株) 全但バス(株) やぶ市観光協会	●		
鉄道利用促進助成事業	香美町在住者が町内 5 駅を発着として 2 名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町	●		
【新】浜坂駅ペイ事業	町内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/ 1 枚)を配布	695千円	新温泉町	●	●	
職員公共交通利用出張	職員の効率的出張を図るため、公用車の乗り合わせ出張をする一方、神戸等への職員一人の出張については特急はまかぜを利用して出張することにより、鉄道の利用促進を図る。	875千円	新温泉町	●		
特急はまかぜ利用助成金事業	町民が特急はまかぜを利用(町内にある 4 つの駅から大阪駅までの運行区間内)した場合に利用に係る乗車券や特急券の購入費用を助成	1,050千円	新温泉町	●		

令和 8 年度の取組検討項目（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
デマンド型乗合交通の活用 （播但線再掲）	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,504千円	朝来市	●	●	●
情報発信 （播但線再掲）	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信の実施	—	朝来市	●		●
利用促進 （播但線再掲）	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進の実施(市職員による利用促進の取組など)	—	朝来市	●	●	●
JR和田山駅周辺整備事業 （播但線再掲）	JR和田山駅周辺において、南北自由通路並びに駅北側ロータリーの基本設計を実施し、和田山駅利用者の利便性向上に向けて調整を進める。	—	朝来市	●		●

令和8年度の取組検討項目（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
豊岡車両基地見学会	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施	750千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
【新】但馬地域公共交通 フォーラム	令和7年度但馬地域公共交通勉強会の成果を地域全体に周知するため、公共交通の重要性を再認識する場として、有識者を招いた講演・パネルディスカッションの実施を検討中。		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
【新】山陰本線・播但線フォト コンテスト	JR山陰本線沿線地域の魅力が伝わる写真を募集し、フォトコンテストを開催する。		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実 【期間】8月～11月		兵庫県但馬・鳥取 県東部地域の交通・観光連携協議 会 但馬地域鉄道利便 性向上対策協議会 等		●	
但馬周遊観光バス 「たじまわる」の運行	○JR各駅等と観光地を結ぶガイド付き観光バス「たじまわる」の運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保 ○ガイド無料や観光施設入館無料など、立ち寄り先での特別体験を企画	12,904千円	但馬観光協議会		●	

令和8年度の取組検討項目（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】JRローカル線利用促進イベントにかかる効果検証アンケートの実施	令和7年度JRローカル線維持・利用促進協議会において、「利用促進事業の効果検証が必要」との意見が出たことをふまえ、利用促進イベント開催時における参加者へのアンケートを実施	—	各イベント主催団体	●	●	
【新】播但貫く、周遊型・謎解きスタンプラリー	中播磨・但馬地域でフィールドパビリオンや観光地を巡る謎解きスタンプラリーを実施。鉄道利用をスタンプ獲得条件にする等の利用促進の仕掛けを検討している。	5,434千円	兵庫県 (但馬県民局・中播磨県民センター)		●	
【新】余部鉄橋保存・活用検討会の設置	有識者、地元関係者、鉄道事業者、行政で構成する検討会において、余部鉄橋の修繕方法や工事中の観光利用など、保存・活用方策を検討し、更なる利活用促進を図る。	—	兵庫県 (但馬県民局)		●	●
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本		●	
かに力二はまかぜの運行(予定)	冬季に臨時特急「かに力二はまかぜ」を運行	—	JR西日本		●	
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	